

ヒト・パピローマ(乳頭腫)ウイルス(HPV)ワクチン Human Papillomavirus (HPV) Vaccines

HPV ワクチンとは何か？

HPV ワクチンは、肛門、子宮頸部、口と喉、陰茎、膣、外陰部、および生殖器疣贅の癌が発症する特定の種類のヒト・パピローマウイルス(HPV)による感染を防ぎます。カナダでは、下記 2 種類の HPV ワクチンが利用できます：これらは、サーバリックス®(HPV2)とガーダシル®9(HPV9)です。HPV9 ワクチンは男女両方への使用、HPV2 ワクチンは女性のみへの使用が、カナダ保健省にて承認されています。ガーダシル®9(HPV9)は、BC 州の対象者には無料で提供されます。

どちらのワクチンも、子宮頸がん症例の約 70%および肛門がん症例の約 80%を引き起こす 2 種類の HPV から保護します。HPV9 ワクチンは、女性における子宮頸がんの 15%から 20%および肛門がんの 11%、男性における肛門がんの 4%を引き起こす 5 種類の HPV から保護します。HPV9 ワクチンは、生殖器疣贅症例の約 90%を引き起こす 2 種類の HPV から保護します。

誰が HPV ワクチンを接種すべきか？

HPV9 ワクチンは、小学 6 年生の全ての子供に無料で提供されます。

小学 6 年生でワクチンを接種しなかった男性(2005 年以降に生まれた)と女性は、19 歳の誕生日より前に一連のワクチン接種を始め、26 歳の誕生日までにワクチン接種を終了する場合、無料で HPV ワクチンを接種できる対象となります。

HPV9 ワクチンは、下記に該当する 9 歳から 26 歳の個人にも無料で提供されます。

- HIV 陽性
- ツースピリット、トランスジェンダーまたはノンバイナリー
- まだ性的に活発ではない可能性があり、自分自身の性的指向に疑問を持つ男性を含む男性同士で性行為を持つ場合
- 路上で生活している男性

以下を含む HPV9 ワクチンの対象となるその他の男：

- 子供および家族発達省の保護を受けている 9 歳から 18 歳の男の子および男性
 - 少年院にいる場合
- 医療提供者に連絡し、予防接種を受けてください。

上記の場合を除き、HPV9 ワクチンの接種は、以下の方に推奨されていますが、無料で提供はされません。

- 19 歳から 45 歳の女性
- 9 歳から 26 歳の男子および男性
- 男性同士で 性行為を持つ 27 歳以上の男性

HPV ワクチンは、6 か月の間に 2 回または 3 回接種する必要があります。9 歳から 14 歳の間に一連のワクチン接種を始める場合、少なくとも 6 か月、間をあけて 2 回接種する必要があります。15 歳以上で一連のワクチン接種を始めた、および免疫力が低下している場合、3 回のワクチン接種が必要です。

無料で HPV ワクチン接種の対象でない場合、ほとんどの薬局や旅行のための診療所にてワクチンを購入することができます。

ワクチンは感染を防ぎますが、感染を取り除くことはないので、性行為をし、HPV との接触がある前に予防接種を受けておくことが最善です。

HPV ワクチンによる恩恵は何か？

HPV に感染したことがない女性の場合、ワクチンの対象となる HPV の種類によって引き起こる子宮頸がんの症例のほぼ 100%をワクチン接種にて防ぐことができます。

HPV9 ワクチンは、下記症例も防ぐことができます：

- HPV の 2 つの主要なタイプによって引き起こる 男性の肛門癌の症例の 78%
- 他の 2 種類の HPV によって引き起こる男性および女性の生殖器疣贅に関する症例の 90%から 100%

全ての種類の HPV ワクチンが、子宮頸がんを引き起こすわけではありませんが、ほとんどの種類の HPV を予防するため、女性が定期的に Pap 検査を受けることは重要です。

ワクチン接種後に起こりうる副作用とは？

ワクチンの主な副作用には、ワクチン接種箇所の痛み、発赤、腫れなどがあります。発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛みも発生する場合があります。

発熱や痛みがある場合、アセトアミノフェン(例：タイレノール)またはイブプロフェン(例：アドビル)を服用することができます。ASA(例：アスピリン)は、ライ症候群のリスクがあるため、18歳未満の方は服用しないでください。

ライ症候群の詳細は、[ヘルスリンク BC ファイル # 84 ライ症候群](#)を参照ください。

100 万人に 1 人未満の割合と、アナフィラキシーと呼ばれる命に関わるアレルギー反応がでる可能性は非常にまれですが、反応が出た場合に備え、ワクチン接種後 15 分間は診療所内で待機することが重要です。アナフィラキシーの症状には、蕁麻疹、呼吸困難、咽喉、舌、唇の腫れなどがあります。これらの症状が出た場合、医療提供者は治療することができます。緊急治療にはエピネフリン(アドレナリン)投与と救急車での最寄りの救急科への搬送が含まれます。診療所を去った後に症状が出た場合、**9-1-1** または地域の緊急電話番号にお電話ください。

重度または予期しない副作用は、かかりつけの医療従事者に常に報告してください。

HPV ワクチンを接種すべきでない人とは？

ご自身およびお子様が以前接種した HPV ワクチンまたは酵母を含むワクチンに対し、生命を脅かす副作用が発生した場合、医療提供者にご相談ください。妊娠中の場合、ワクチンを接種しないでください。

風邪やその他軽度の病気を理由に予防接種を遅らせる必要はありません。ただし、心配な場合は、医療提供者に相談してください。

HPV とは何か？

HPV は、最も一般的な性感染症(STI)の 1 つです。免疫力がなく性的に活発な人の約 4 人に 3 人は、いつかは HPV に 染します。他の人と、口、性器、または肛門との接

触が伴う性行為をしている人はどなたでも HPV に感染する可能性があります。性行為がなくても感染します。性的パートナーが多いほど、HPV に感染するリスクは高くなります。男性と性行為をする男性の場合、HPV 感染のリスクが高くなります。

HPV に感染するとどうなるのか？

ほとんどの HPV 感染者は、兆候や症状が出ず、知らないうちに他の人にウイルスを感染させる可能性があります。ほとんどの場合、HPV 感染症は自然に治ります。HPV はなくならず、ウイルスに感染した細胞は時間の経過とともに前癌性または癌性となる場合があります。

BC 州では毎年以下のことがあります：

- 210 人が子宮頸癌を患い、55 人がこの病気により亡くなります
- 6,000 人に、前癌性のある子宮頸部にリスクの高い変化が起こります
- 45 万人以上の方が、Pap 検査を受けます。1 万 4 千人以上の方は、経過観察が必要です。経過観察には、子宮頸がんの発生を防ぐ Pap 検査とその他の治療が含まれる場合があります
- 135 人が肛門がんになり、20 人がこの病気により亡くなります
- 5,500 人が生殖器疣贅を発症します

成熟した未成年者の同意

予防接種の同意について、ご両親または保護者の方とお子様で話し合うことが推奨されています。それぞれのワクチンによる恩恵と起こりうる副作用、および予防接種をしない場合のリスクが理解できる 19 歳未満の子供は、法的にワクチン接種に対し、同意あるいは、拒否することができます。成熟した未成年者の同意の詳細については、[ヘルスリンク BC ファイル #119 乳幼児法、成熟した未成年者の同意および予防接種](#)をご確認ください。

詳細

- [ヘルスリンク BC ファイル # 101a ヒト・パピローマウイルス\(HPV\)感染および生殖器疣贅](#)
- 予防接種 BC <https://immunizebc.ca>



ImmunizeBC



BC Centre for Disease Control
Provincial Health Services Authority

ヘルスリンク BC ファイルのトピックスに関しては、www.HealthLinkBC.ca/healthfiles をご覧いただくか、最寄りの公衆衛生機関をお尋ねください。緊急を要しない BC 州における健康情報および助言については、www.HealthLinkBC.ca をご覧いただくか、**8-1-1** (フリーダイヤル) までお電話ください。耳が不自由な方、難聴の方は、**7-1-1** までお電話ください。ご希望により 130 以上の言語で翻訳サービスがご利用いただけます。